

# 法遍寺 から大切な 皆様へ

2024年8月1日

日蓮正宗 年間方針

折伏前進の年

法遍寺・天晴寺支部活動方針

講中一結・万難を排して

折伏実践

年間実践テーマ

① 勤行・唱題で歡喜の活動

根本を欠かさず家族

そろって弛まず実践

② 講中一結して折伏実践

「異体同心」・「師弟相對」

の信心で

広宣流布に邁進

③ 支部総登山と寺院参詣

で人材育成

死身弘法の決意と歡喜

の生活・切磋琢磨

しながら家庭訪問

〒488-0881

愛知県尾張旭市城山町三ツ池6075-1

(電話番号 : 0561-54-9226)

相談無料 <https://hohenji.net/>

2024年07月07日 広布唱題会



慧光山 法遍寺(えこうざん ほうへんじ)について 住職 近藤道正

法遍寺は、静岡県富士宮市にある「多宝富士大日蓮華山大石寺」を総本山とする日蓮正宗の寺院です。日蓮大聖人様の正しき信仰を人々に弘め、ここ愛知地域の全ての人々が真の幸せをつかむ為に、総本山第67世日頭上人が開基となって、昭和57年6月18日法遍院として設立され、平成20年12月23日には改築され、法遍寺となりました。日蓮大聖人様の出世の本懐である三大秘法の大御本尊に帰依(きえ)し、破邪顕正の布教活動をさせていただいております。

## ① 講中のみなさまへ「幸せのための言葉を発していこう」

言葉は意思を伝えるなど様々な目的で使われる。しかし使い方が大変難しく、人を殺傷する場合もあれば幸福にすることもできる、口は自身が使うものであり、まさに言霊である。大聖人曰く、「わざわいは口より出でて身をやぶる」(御書1551)と。そして地獄も仏も自らの胸の間にもつ人生において、苦悩を幸福へと転ずるため、仏心たる妙法の功德をお示しになられた。月は山の端から昇り出でてその山を照らすごとく、わざわいは自らの口から発して自身を傷つけ、幸いは心から湧き出でて自身を飾るのである。地獄の口から仏の口に転ぜしむる法は何か。一言でいえば「善心」を持つことである。仏は善心の原点を妙法への「信」と説く。信によって善心が育てられるのである。悪心の五要素は「忿心・恨心・惱心・嫉心・害心」である。これらを妙法は善心に変えるのである。無心に題目を唱えつつ、他人に妙法の信仰を勧めるところ、自らも相手も共に功德となる。これが口業による累徳である。妙法への絶対信のもと、尊い言葉を広布のために発していこう。

## ② 正しい信仰を求めている方へ「餓鬼の意味を知る」

餓鬼という言葉は、一般的に賤しいとか貪りを表す意味で使われる。仏法で説く本来の意味からこれに補足すれば、餓鬼とは十界生命の中の三悪道(地獄・餓鬼・畜生)のひとつで、常に飢餓の苦の状態にある世界をいい、これにより際限のない欲望に支配され続ける生命状態をいう。この因果を尋ねれば、仏法僧への供養心がない、他に施しができない、親切心がない等である。結果、福德の乏しい者が住む世界に身をおき、現実の人界にあっても死後にあってもこの餓鬼界の苦に埋没し続けるのである。けして人ごとではなく、地獄界・畜生界とともにむしろ墜ちやすい世界なのである。日蓮大聖人の仏法は宇宙法界の現象と真理のすべてを達観した本仏の教えである。ここに帰命する時、自己の内面から健全な生命を涌現させ、修行によって智慧と慈愛に満ちた人間性を開発していくことができる。欲望も幸福のために活かされるのである。餓鬼界に陥ることのない、崩れることのない絶対的幸福、それは正しい宗教によって得られることを知って頂きたい。